

# 中東三井物産、ETG 社と書簡を交換

～ザンビア・ジンバブエにおける JICA との農業連携促進～

2025 年 8 月 21 日

国際協力機構（JICA）は、8 月 18 日、主にザンビア共和国・ジンバブエ共和国における農業分野の連携に向けて、中東三井物産株式会社、ETC Group（ETG 社）と協力覚書を締結しました。JICA はアフリカにおける小規模農家の支援を通じて、持続可能で包摂的な農業・農村開発を目指しています。その中で、小規模農家が自ら考えて市場志向型の農業経営を実践するための研修（SHEP）や、住民が木の枝や石などの地元の資材を用いて超小規模灌漑（COBSI）施設を建設するための研修を実施しています。一方で、こうした技術を普及するアフリカ各国の農業省の予算は限られており、民間企業との連携を通じて、JICA の支援の成果を拡大・継続させることが期待できます。

今回の協力覚書を元に、ETG 社及び中東三井物産社と連携し、SHEP や COBSI に従事している農家の資機材購入や農産物買取の機会の拡大、大豆やコメの栽培、農業普及方法に関する情報共有や合同の技術移転活動を行い、小規模農家の更なる生計向上や農村経済の活性化を目指していきます。今後、活動の詳細を検討し、具体的な活動に繋げていく予定です。



書簡の交換の様子

## 関連リンク

- ・ [SHEP（市場志向型農業振興）アプローチ | 事業について - JICA](#)
- ・ [世界の農業農村開発 66 号 - REPORT & NETWORK ザンビアの小規模灌漑開発の事例紹介](#)